

売る？ 買う？ ゴミ？

もっと気にして！ リサイクル事情

モノとのつきあいは上手ですか？ 私たちの身の回りにあるモノは、石油や木などの地球資源を使い作られています。モノとのつきあいを考えることは、地球と向き合うこと。地球との末永いつきあいを考えてみませんか？



●板橋区の作業所で作った箸と
としまNPO推進協議会メンバー
手作りの箸袋

リサイクルショップ キッズマート駒込

—子ども用品の専門店ということですが、
こんな商品は引き取れない、というものはありますか。

本は定価のついているもののみお引取りいたします。洋服だったら、シミや汚れがあるもの、名前がマジックで書いてあるものは引き取ることができません。あとは使用期間が長すぎるもの。おもちゃですと、壊れているものはお断りしています。箱がないものでも買い取り対象になりますので、お気軽にご来店ください。



店長
佐野美恵子さん

リサイクルショップ「キッズマート駒込」
場 所：〒170-0003 豊島区駒込6-27-12
電話番号：03-3910-7733
営業時間：AM10:00~PM7:00
定 休 日：火曜日

清掃事務所

東京都のゴミの総量は毎年減っています。過去最高だった1989年の490万トンと比べて、2005年度は339万トンまで減りました。しかしプラスチックの排出量は増え続けています。軽いうる便利さもあるのでしょう。豊島区は改善策として、ペットボトルやトレー、ボトルタイプのプラスチック容器を資源として回収しています。また、23区では、これまで埋め立てていた弁当ガラのなどの廃プラスチック容器を「燃やすゴミ」に変更し、熱エネルギーとして回収することにしました。できるだけゴミとせず、資源として取り出し、埋め立てるゴミを減らしていくというものです。皆さんが正しく分けて出すことによって、資源として有効に活用されます。また、レジ袋などを「断る=Refuse (リフーズ)」こともゴミを減らす行動です。皆さん一人ひとりの力で、豊島区を環境に配慮したより良いまちに変えていきましょう。



豊島区豊島清掃事務所
廃棄物管理指導員
統括技能長 川平雪雄さん
「資源の大切さ、もの大切さ」
というテーマで小学校3~6年
生を対象に授業をしている。

フリーマーケット

声をかけて、人を動かす。

今、地球は本当に危ない状態なんです。ゴミを少しでも減らしていかないといけない。そのひとつの作業としてフリーマーケットをしています。10人、100人とエコに思いを持っている人はいる。その思いを実現させるためにも、誰かが立ち上がることが必要なんです。たくさんの人に使ってもらうために、「マイ箸」の販売をしています。箸袋は和服の古着で手づくりしています。もちろん自分でも使っています。僕らは地球と一緒に生きている。エコライフとは、みんなが素敵になる生き方のことだと思っています。



主催者

フリマ主催者：柳田好史さん

「としまNPO推進協議会」「東京マンションCC」

「自転車活用推進研究会」代表・理事

地域と協力し、フリーマーケットや交流会など、様々なイベントを行っている。http://blog.goo.ne.jp/yyoshiok/

売り手 阿部恵美子さん・本多絵理子さん

●フリマに参加した理由

—今回初めて参加したということですが、そのきっかけは？
子どもの成長など生活の変化で、いらないものが出てきます。自分には必要なくても、まだ使えるものをゴミにしてしまうのは心が痛いからです。フリマに出品して、欲しいという方に使っていただければ、私も嬉しいなと思ったからです。



●売れ筋

—どんなものが人気ですか？

デパートの箱に入ったものとか、未使用のものは早めに売れてしまいますね。あとは売れないと思っていたものが意外と人気だったりするんです。たとえばマタニティドレスとか。お年寄りの方が「ゆったりとしたものが欲しかったの!」と言って買ってくれました。

買い手 石崎三枝子さん・小出絹子さん

●フリマに参加した理由

—フリマで何度も買い物を楽しんでいるということですが、フリマの魅力とは何ですか？
とにかく安いことです。デパートで売っているものが500円で買えたりしますから。箱に入っていないものでも、よく見るとブランド物だったりするんですよ。

—失敗してしまった経験などはありますか？

あれもこれもと買い過ぎてしまって、結局使わなかったということがありました。フリマの魅力はやはり安さですから、どうしても欲張ってしまうんです。その経験をしてからは、欲しいものをじっくり見極めるようになりました。

「環境」が つなぐ人々

このたび豊島区は生活に密着した環境情報を紹介する『エコのわ』を創刊いたしました。『エコのわ』という名前には、エコロジカルな活動を通して交流の輪や人と人とのつながりが広がっていくという意味が込められています。

また、豊島区では平成20年度を「環境都市づくり・元年」と位置づけています。私たち一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、豊島区に住み、働き、学ぶすべての人の力が集まれば、未来の世代へ価値ある環境都市を引き継ぐことができると信じています。

いよいよ4月から京都議定書の約束期間がスタートします。今こそ、地球温暖化の原因の一つとされている私たちの生活スタイルを知恵と工夫を持ってもう一度見直してみることが必要です。

『エコのわ』は今後も身近な環境情報をお届けいたします。皆さまの力で大きな輪が広がっていくように育ててください。

豊島区長 高野 之夫



豊島区役所 本庁舎の屋上庭園にて

アンケートに ご協力ください

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、あなたのすすめるエコ情報及びご意見・ご感想をお寄せください。住所、氏名、年齢、性別、電話番号、ご職業を明記のうえはがき、メール、FAXのいずれかでエコライフ課までお寄せください。抽選で5名の方に、豊島区オリジナルエコバッグをプレゼントします。(抽選対象3月末日着分)